1964
THE CLOCK HOUSE

Ver.5.0

株式会社 ザ･クロックハウス
0120-060-969
https://www.theclockhouse.jp

目次　　ページ

○ご使用になるまえに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
○デュプロインバックル付バンドサイズ調整方法について・・・・・・・・・ 9
○チェンジャブルタイプの革バンド交換方法について・・・・・・・・・・ 10
○チェンジャブルタイプのバックル交換方法について・・・・・・・・・・ 11
○ネジ込み式リューズモデルについて・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
クオーツ（電池式）ウォッチ操作方法　3針・・・・・・・・・・・・・・・ 13
マルチファンクション・・・・・・ 17
クロノグラフ・・・・・・・・・・ 22
○ソーラーウォッチについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
ソーラーウォッチ操作方法　ソーラー3針・・・・・・・・・・・ 28
ソーラーマルチファンクション・・ 30
ソーラークロノグラフ・・・・・・ 32
○ソーラーウォッチクロノグラフ搭載モデルシステムリセット方法・・・・ 38
○アナログオートマチック（自動巻）の取扱について・・・・・・・・・・ 39
○針と目盛りのズレについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

【ご使用になるまえに】

このたびは、THE CLOCK HOUSE のリストウォッチをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
弊社では厳しい品質検査を行った上で製品をお届けしていますが、末永くご愛用いただくために「取扱説明書」をよくお読みの上、ご使用くださいますようお願い申し上げます。

◎保護シールについて

時計のガラスや金属部分（裏蓋、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

◎防水性能について

当社製品の防水性能は表で示す区分になっていますので、ご購入の時計を確認の上、1～1.5 年毎にパッキンの交換及びリューズの防水点検をお勧めします。非防水時計については、一時的にかかる水滴（洗顔時の水はね・雨など）や汗にはご注意ください。万一、水や汗でぬれた場合は乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。
※時計内部には多少の湿気がありますので、外気が時計の温度より低い時にはガラス面が曇る場合があります。曇りが一時的な場合には支障はありませんが、長時間消えない場合は、お近くのザ・クロックハウスにご相談ください。
※リューズは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。

名　称	表　示	仕　様	使　用　例				
	文字板または裏ぶた		水がかかる程度の使用（洗顔・雨等）	水仕事や、一般水泳に使用	スキンダイビング、マリンスポーツに使用	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用	水滴がついた状態や水中でのリューズやボタン操作
非防水時計	―	非防水	×	×	×	×	×
日常生活用防水時計	WATER RESISTANT	3気圧防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESISTANT 5bar	5気圧防水	○	○	×	×	×
	WATER RESISTANT 10/20bar	10気圧防水 20気圧防水	○	○	○	×	×

※ご使用状況や環境によっては思わぬ水圧がかかる場合がございますので、ご注意ください。

※水滴がついた状態や、水中でのリューズやプッシュボタンの操作は絶対におやめください。水が入り故障の原因となります。
※革バンドは非防水ですので、水がかからないようご注意ください。
※汗や雨などによって革バンドがぬれますと、色落ちし衣類を汚す原因となる場合がありますので十分にご注意ください。

◎海水に浸かった後のお手入れ

日常強化防水時計はケースに付いた海水をよく洗い落としサビなどが出ないようにしてください。このとき、革バンドの時計はバンドに水がかからないように注意してください。非防水時計はケースに付いた水分をよく拭き取ると共に、時計内部に海水が入っていないか早めにお近くのザ・クロックハウスで確認を受けてください。海水が入っていると故障の原因となります。

◎温度について

・直射日光や高温になるところに長時間置かないでください。
・寒いところに長時間おかないでください。
※常温（5℃～35℃）から大きくはずれた温度下で長時間放置しますと、故障の原因となったり、電池の寿命が短くなることがありますのでご注意ください。また、多少の進み遅れが生ずることがありますが、腕に付けしばらくすれば元の精度にもどります。

◎衝撃について（ゴルフや野球などのスポーツでの衝撃）

※床に落とすなど激しい衝撃は、時計の止まり、遅れ、進みなどをはじめとする故障・損傷の原因となりますので、ご注意ください。

◎磁気について

家庭用電気製品・パソコン機器・携帯電話の近くなど磁気や静電気の影響があるところに長時間放置しないでください。部品が磁化して故障の原因となることがありますのでご注意ください。
※磁石・磁石付き健康器具・電気麻雀台など強い磁気を発生する物には近づけないでください。
※磁気の影響を受けると一時的な進み、遅れが生じることがありますが、磁気から遠ざけると元の精度で動きます。

◎静電気について

クオーツ時計に使われている IC は、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

◎化学薬品・ガス・水銀について

ガス･水銀･化学薬品など（シンナー･ガソリン･各種溶剤またはそれらを含むクリーナー･接着剤・塗料・薬品・香水・化粧品類など）が触れるとケース・バンド・文字盤の変色

や樹脂部分では、変色・変形・破損する場合がありますので、十分ご注意ください。

◎着用時の注意

※幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分にご注意ください。
※激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため十分ご注意ください。
※サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
※バンド着脱の際に中留めなどで爪を傷つける恐れがありますので十分ご注意ください。
※時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

◎皮革・金属・プラスチックによるアレルギーについて

体質により皮革・金属・軟質及び硬質プラスチックなどにて皮膚がかぶれたり、肌に異常が認められたときは、直ちにご使用を中止し専門医にご相談ください。

◎ケース・バンドのお手入れについて

ケース･バンドなどに付着した汚れや水分は時計の機能を損なう･皮膚の弱い方のかぶれ･衣類の袖口を汚す原因となる場合があります。末永くご使用いただくために柔らかい布などで拭き、常に清潔にしてお使いください。特にバンドは肌着類と同様直接肌に接していますので、定期的に次の方法で汚れを取りご使用ください。

【ケース】
汚れを柔らかい布などで吸い取るように軽く拭いてください。こすったりすると色落ちしたり、ツヤがなくなったりする場合があります。薬品などは変色の原因となりますので使用しないでください。また回転ベゼル付きの商品はベゼルの下に汚れなどが付着してたまり、機能が損なわれる場合がありますので、柔らかい歯ブラシなどで汚れを落とし、清潔にしておいてください。
【金属バンド】
石鹸水をつけた柔らかい歯ブラシなどで部分洗いしてください。このとき、非防水時計は水がケースにかからないように注意してください。汚れたままにしておきますと、腐食・サビの原因となります。
【皮革バンド】
水に濡れたり汗をかいた場合、すぐに乾いた柔らかい布で、こすらず吸い取るように軽く拭いてください。皮革バンドは自然素材のため摩耗や変形・変色・色落ちなどの経年劣化があります。また高温多湿になる場所での保管は避けてください。
【軟質プラスチックバンド】
水に濡れたり汗をかいた場合、乾いた柔らかい布で拭いてください。また汚れのひどい場合は、石鹸水または水で洗ってください。ポリウレタン素材は光による色褪せのほか、衣類などの染料や汚れによる変色（色移り）が生じることがあります。色落ちする衣類やバッグなどとこすれると、色が移ることがありますのでご注意ください。また使用期間により、材質が固くなり、折れたり・割れたりする場合があります。

※バンドは指１本が入る程度の余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。

◎点検のおすすめ

電池交換時または２～３年に１度の点検をおすすめします。電池の漏液・汗・水分の侵入の有無など、お買い上げ店にお申し付けください。点検の結果によっては、調整・修理を必要とする場合があります。
※定期点検時に防水性を保つためにお買い上げ店で診断していただき、パッキン･ガラス･リューズなどの交換もご依頼ください。また、バネ棒の交換もおすすめします。

◎電池交換について

この時計の電池寿命は新しい正常な電池を組み込んだ場合、製品仕様の年数に応じ作動します。
※電池が切れたままで長時間放置しますと漏液などで故障の原因となりますので、お早めに交換してください。
※電池は組み込んである専用電池をご指定ください。
※電池交換は専用の工具・技術などを必要としますので、お買い上げ店にお申し付けください。
※電池を組み込むときは極性を間違えると発熱･破裂する場合がありますので正しく行ってください。
※取り出した電池は、幼児の手の届かない所に保管してください。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

※取り出した電池は火の中に捨てないでください。破裂する場合があります。
※充電用の電池ではありませんので、絶対に充電しないでください。充電を行いますと発熱・破裂する場合がありますので行わないでください。
※お買い上げ時に組み込まれている電池はモニター用電池です。モニター用電池は時計の性能・機能を確認するための電池です。お買い上げ後製品仕様の年数に満たず電池の寿命が切れることがありますのでご了承ください。

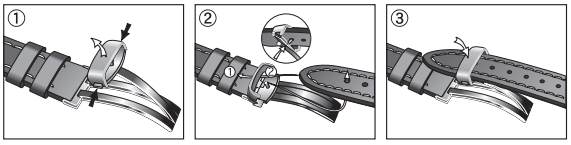
◎セラミック素材について

セラミックは硬度の高い素材なのでキズがつきにくく、変色や腐食の心配がありません。しかも比重がステンレスの約半分と軽さも備えております。その反面衝撃には脆い素材で、落下や何かにぶつけた衝撃で割れてしまうことがありますので、お取り扱いには十分注意してご使用ください。

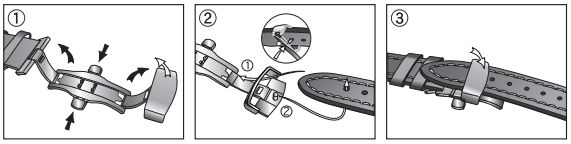
◎時刻の合わせ方について

クオーツ（ならびにソーラー）は機械式時計と機能が異なりますので、正確に合わせるためには、分針を正しい時刻より４～５分進めてから逆にもどして合わせてください。

【片開きデュプロインバックル付バンドサイズ調整方法】



【観音開きデュプロインバックル付バンドサイズ調整方法】



①留め具のカバーを開き、左右にあるバックルのボタンを押し開きます。
②図①のようにバンドを通し、サイズを調整し革バンドの穴に図②のピンを入れます。
③サイズが決まったら留め具のカバーを閉じ、留め具をロックします。

チェンジャブルタイプの革バンド交換方法

チェンジャブルタイプの革バンドには簡単に着脱可能なバネ棒を使用しております。下記方法により交換していただくことができます。
バネ棒は通常使用時に外れることを防ぐため少し固くなっておりますので、交換していただく際には爪の割れなどに十分ご注意ください。

1. 時計を裏向きにします。革バンドの付け根部分にバネ棒のレバーがあります。(図１)
2. レバーを①矢印の方向に引きながら、バンドを②矢印の方向にずらしていただくと革バンドが外れます。(図２)
3. 取付けの際は、取り外す時と逆の操作をします。革バンド左側のバネ棒をケース足部の穴に差し込み、レバーを内側に引きながらもう片方を押し込みます。カチッと音がするまでバンドを少し動かしてください。バンドを少し引っ張り外れなければ問題ございません。

※バネ棒がきちんとケースの穴に入っていない場合、革バンドが外れ時計本体が落下するおそれがありますので、十分ご注意ください。

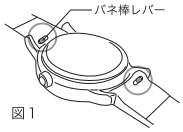


図１

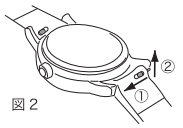


図２

チェンジャブルタイプのバックル交換方法

1. バックル付きの革バンドを裏向きにすると、バックルの付け根部分にバネ棒のレバーがあります。(図１)

※バンド単体で保管される際、遊革が取れやすくなっておりますので無くさないように十分ご注意ください。

2. レバーを①矢印の方向に引きながら、バックルを②矢印の方向にずらしていただくとバックルが外れます。(図２)
3. 取付けの際は、取り外す時と逆の操作をします。革バンド左側のバネ棒をバックル足部の穴に差し込みレバーを内側に引きながらもう片方を押し込みます。カチッと音がするまでバンドを少し動かしてください。バンドを少し引っ張り外れなければ問題ございません。

※バックルは定革側に、時計は遊革側の位置になるよう取付けてください。
※革の特性上、革が馴染むまで取付けが難しい場合があります。

⚠バンドには小さな部品を使用しておりますので、小さなお子様がいる場合には手の届かない場所に置いていただくなど取扱いには十分ご注意ください。

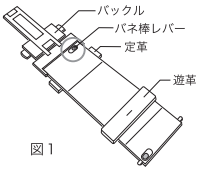


図１

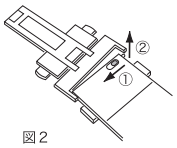
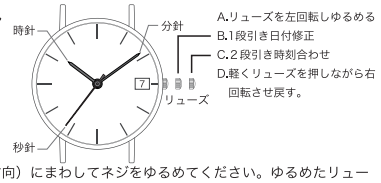


図２

◎ネジ込み式リューズモデル

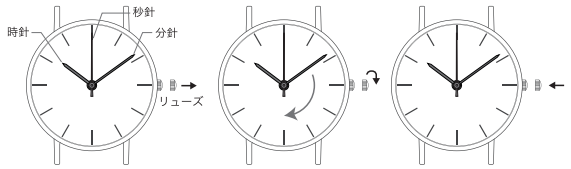


①リューズを手前（６時の方向）にまわしてネジをゆるめてください。ゆるめたリューズを１段階引き、奥（12 時の方向）にまわすと日付の変更ができます。
※日付は前の日の日付にセットし、リューズを２段階引き出して今日の日付になるまでリューズをまわしてください。
②ゆるめたリューズを２段階引き出してください。引き出したリューズをまわすと、時・分針が動いて時刻の変更ができます。時刻を合わせたら、時報と同時にリューズを押し込みます。
※ネジをしめた状態で無理にリューズを引き出しますと、爪が割れるなどケガをする恐れがあります。絶対におやめください。
※リューズを操作した後は、必ずネジをしめてください。ゆるんだままにしておきますと、そこから水が入り防水不良の原因となります。

【クオーツ】

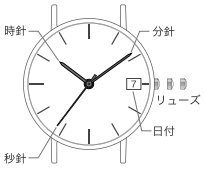
製品仕様
1. 水晶振動数 ・・・・・ 32,768Hz（Hz=１秒間の振動数）
2. 携帯精度 ・・・・・ 月差±１５秒～２０秒以内（常温）
3. 使用電池 ・・・・・ 酸化銀電池
4. 電池寿命 ・・・・・ 新しい電池組み込み後約２年

◎３針モデル
（時刻の合わせ方）



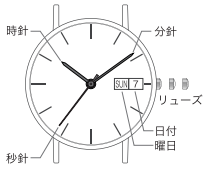
①リューズを１段引き出すと秒針が止まります。秒針は１２時の位置に止めます。
②リューズをまわして針を合わせます。
③時報と同時にリューズを押し込みます。

◎３針デイトモデル



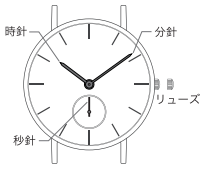
（時刻の合わせ方）
リューズを２段引き出します。
リューズをまわし、午前と午後を間違えないようにして時刻を合わせます。
合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
（日付の合わせ方）
リューズを１段引き出します。
リューズをまわして日付を合わせます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
※午後９時～午前２時までの間に日付を合わせると、次の日に変わらない場合があります。

◎３針デー・デイトモデル



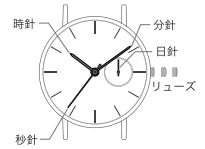
（時刻の合わせ方）
リューズを２段引き出します。
リューズをまわし、午前と午後を間違えないようにして時刻を合わせます。
合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
（日付、曜日の合わせ方）
リューズを１段引き出します。
リューズをまわして日付を合わせます。
左にまわすと、日付が切り替わります。
右にまわすと、曜日が切り替わります。
合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
※午後９時～午前２時までの間に日付、曜日を合わせると、次の日に変わらない場合があります。

◎スモールセコンドモデル



（時刻の合わせ方）
リューズを１段階引き出します。
リューズをまわして時刻を合わせます。
合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。

◎４針サーキュラーデイトモデル

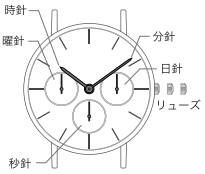


（時刻の合わせ方）
リューズを２段階引き出します。
リューズをまわし、午前と午後を間違えないようにして時刻を合わせます。
合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
（日付の合わせ方）
リューズを１段引き出します。
リューズを反時計まわりにまわして日付を合わせます。
逆にまわしても日付は変わりません。
合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。

◎４針２４Ｈ モデル

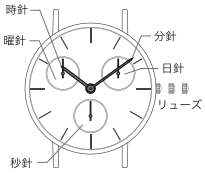
（時刻の合わせ方）
リューズを１段引き出します。
リューズをまわし時・分針を進めていくと時針が進みます。
合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
※２４時間針の午前・午後を間違えないように合わせてください。

◎５針デー・デイトモデル①



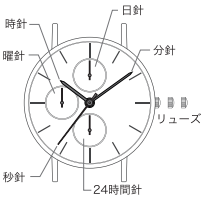
（曜日の合わせ方）
リューズを２段引き出します。リューズをまわし時・分針を進めていくと曜針が進みます。針をまわし続け曜日を合わせてください。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
（時刻の合わせ方）
リューズを２段階引き出します。リューズをまわし時・分針を進めていくと時針が進みます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
（日付の合わせ方）
リューズを １ 段引き出します。リューズをまわして日付を合わせます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
※午後９時～午前２時までの間に日付を合わせると、次の日に変わらない場合があります。
※日付・曜日は２４時間に１度変わるように設計されています。

◎５針デー・デイトモデル②



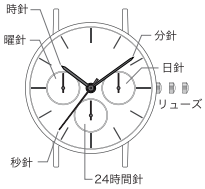
（曜日の合わせ方）
リューズを２段引き出します。リューズをまわし時・分針を進めていくと曜針が進みます。針をまわし続け曜日を合わせてください。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
（時刻の合わせ方）
リューズを２段階引き出します。リューズをまわし時・分針を進めていくと時針が進みます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
（日付の合わせ方）
リューズを １ 段引き出します。リューズをまわして日付を合わせます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
※午後９時～午前２時までの間に日付を合わせると、次の日に変わらない場合があります。
※日付・曜日は２４時間に１度変わるように設計されています。

◎６針デー・デイト・24H モデル①



（曜日の合わせ方）
リューズを２段引き出します。リューズをまわし時・分針を進めていくと曜針が進みます。針をまわし続け曜日を合わせてください。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
（時刻の合わせ方）
リューズを２段階引き出します。リューズをまわし時・分針を進めていくと時針が進みます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。 ※２４時間針の午前・午後を間違えないように合わせてください。
（日付の合わせ方）
リューズを １ 段引き出します。リューズをまわして日付を合わせます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
※午後９時～午前２時までの間に日付を合わせると、次の日に変わらない場合があります。
※日付・曜日は２４時間に１度変わるように設計されています。

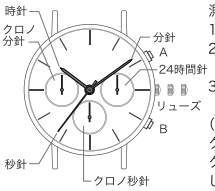
◎６針デー・デイト・24H モデル②



（曜日の合わせ方）
リューズを２段引き出します。リューズをまわし時・分針を進めていくと曜針が進みます。針をまわし続け曜日を合わせてください。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
（時刻の合わせ方）
リューズを２段階引き出します。リューズをまわし時・分針を進めていくと時針が進みます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。 ※２４時間針の午前・午後を間違えないように合わせてください。
（日付の合わせ方）
リューズを １ 段引き出します。リューズをまわして日付を合わせます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
※午後９時～午前２時までの間に日付を合わせると、次の日に変わらない場合があります。
※日付・曜日は２４時間に１度変わるように設計されています。

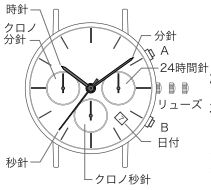
クロノグラフ

◎クロノグラフモデル①



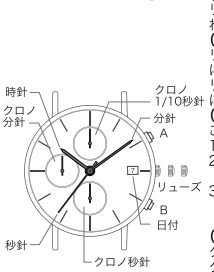
（時刻の合わせ方）
リューズを２段引き出します。リューズをまわして時刻を合わせます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
（クロノグラフの使い方）
このクロノグラフは最大 59 分 59 秒まで時間を計測し表示できます。
1.Aボタンを押してクロノグラフをスタートします。
2.クロノグラフはAボタンを押す毎にスタート／ストップを繰り返すことができます。
3.Bボタンを押すと、クロノグラフがリセットされ、クロノ秒針、クロノ分針が０時位置に戻ります。
（クロノグラフゼロリセット）
クロノグラフをリセットした後や、電池交換した後など、クロノ秒針が０時位置に戻らないときにこの手順を実行してください。
1. リューズを２段引き出します。
2. A ボタンまたは B ボタンを押してクロノ秒針を０時位置にあわせます。
3. クロノ秒針が０時位置に戻ったら、リューズを押し込みます。

◎クロノグラフモデル②



（時刻の合わせ方）
リューズを２段引き出します。リューズをまわして時刻を合わせます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
（日付の合わせ方）
リューズを １ 段引き出します。リューズを反時計まわりにまわして日付を合わせます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。※午後９時～午前２時までの間に日付を合わせると、次の日に変わらない場合があります。
（クロノグラフの使い方）
このクロノグラフは最大59分59秒まで時間を計測し表示できます。
1. Aボタンを押してクロノグラフをスタートします。
2. クロノグラフはAボタンを押す毎にスタート／ストップを繰り返すことができます。
3. B ボタンを押すと、クロノグラフがリセットされ、クロノ秒針、クロノ分針、が０時位置に戻ります。
（クロノグラフゼロリセット）
クロノグラフをリセットした後や、電池交換した後など、クロノ各針が０時位置に戻らないときにこの手順を実行してください。
1. リューズを２段引き出します。
2. A ボタンまたは B ボタンを押してクロノ秒針を０時位置にあわせます。
3. クロノ秒針が０時位置に戻ったら、リューズを押し込みます。

◎クロノグラフモデル③



※クロノ 1/10 秒針は １ 分を経過すると止まり、クロノグラフをストップすると測定時刻を示します。

（時刻の合わせ方）
リューズを２段引き出します。リューズをまわして時刻を合わせます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
（日付の合わせ方）
リューズを １ 段引き出します。リューズを反時計まわりにまわして日付を合わせます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。※午後９時～午前２時までの間に日付を合わせると、次の日に変わらない場合があります。
（クロノグラフの使い方）
このクロノグラフは最大59分59秒まで時間を計測し表示できます。
1. Aボタンを押してクロノグラフをスタートします。
2. クロノグラフはAボタンを押す毎にスタート／ストップを繰り返すことができます。
3. B ボタンを押すと、クロノグラフがリセットされ、クロノ秒針、クロノ分針、クロノ 1/10 秒針が０時位置に戻ります。
（クロノグラフゼロリセット）
クロノグラフをリセットした後や、電池交換した後など、クロノ各針が０時位置に戻らないときにこの手順を実行してください。
1. リューズを２段引き出します。
2. Aボタンを押してクロノ 1/10秒針を０時位置に合わせます。
3. B ボタンを押してクロノ秒針、クロノ分針を０時位置にあわせます。
4. クロノ各針が０時位置に戻ったらリューズを押し込みます。

ソーラー

【ソーラー】
製品仕様 1. 水晶振動数 ・・・・・ 32,768Hz（Hz=１秒間の振動数）
2. 携帯精度 ・・・・・ 月差 ±１５秒～２０秒以内（常温）
3. 使用電池 ・・・・・ 二次電池

この時計は、文字盤の下にあるソーラーセルによって発電された電気エネルギーを内蔵の二次電池に蓄えることができます。充電は、文字盤に直射日光や蛍光灯などの光を当てることにより行われます。次のように充電すると、快適にご使用いただけます。
・月に一度は直射日光に当てて、5～6 時間充電する。
・光の当たらない場所での長期保管を避ける

充電上の注意
日常長袖などを着用していると時計が隠れて光が当たらないため充電不足になりやすいのでご注意ください。
また、充電の際に時計が高温になると、故障の原因になりますので、高温下（約６０℃以上）での充電は避けてください。
例）白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい光源に時計を近づけての充電。
車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電。
※白熱灯で充電するときは、必ず５０ cm 以上離して、時計が高温にならないように注意して充電してください。

◎充電警告機能
秒針が２秒運針（２秒毎に１回２目盛りずつ進む動作）して充電不足を知らせます。このときも時計は正確に動いていますが、２ 秒運針を始めてから約 4 日以上経過すると、充電不足で時計は停止します。充電不足にならないように、常に充電を心がけてください。

◎クイックスタート機能
充電が全くされていないと時計は停止してしまいます。光を当てると約１０秒で時計の針が動き始めます。（モデルや光の明るさによって、針が動き出すまでの時間は異なります。）但し、このときに光をさえぎると充電が十分でないため、時計は再び停止してしまいますのでご注意ください。

◎過充電防止機能
二次電池がフル充電されると、それ以上は充電されないように過充電防止機能が働きますので、安心して充電ができます。

二次電池の交換について
この時計に使われている二次電池は、充電、放電を繰り返し行えるため、一般の電池のように定期的な電池交換の必要はありません。
※この時計に使われている二次電池以外は絶対に使わないでください。

◎充電時間の目安
連続して照射した場合の数値です。また時計のモデル（文字盤の色など）によっても充電時間は異なります。目安としてご利用ください。

環境	明るさ（ルクス）	充電時間（約）		
		通常に動く状態を１日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外（晴天）	100,000	２分	１時間	7.5 時間
屋外（曇天）	10,000	８分	３時間	27 時間
蛍光灯（30W）の下 20cm	3,000	30 分	14 時間	92 時間
屋内照明	700	２時間	70 時間	-

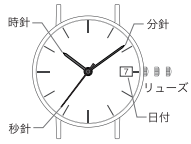
・直射日光での充電をおすすめします。蛍光灯や屋内照明では、十分に充電するには明るさが不十分です。
・充電完了後、充電しないで時計が停止するまで約４ヶ月～６ヶ月

ソーラー　3針

◎ソーラー３針モデル

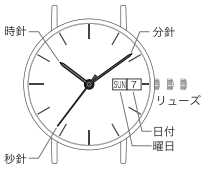
（時刻の合わせ方）
リューズを１段引き出します。
リューズをまわして時刻を合わせます。
合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。

◎ソーラー３針デイトモデル



（時刻の合わせ方）
リューズを２段引き出します。
リューズをまわし、午前と午後を間違えないようにして時刻を合わせます。
合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
（日付の合わせ方）
リューズを１段引き出します。
リューズをまわして日付を合わせます。
合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
※午後９時～午前２時までの間に日付を合わせると、次の日に変わらない場合があります。

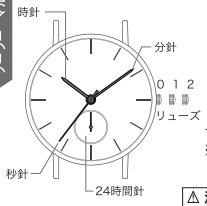
◎ソーラー３針デー・デイトモデル



（時刻の合わせ方）
リューズを２段引き出します。
リューズをまわし、午前と午後を間違えないようにして時刻を合わせます。
合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
（日付、曜日の合わせ方）
リューズを１段引き出します。
リューズをまわして日付を合わせます。
左にまわすと、日付が切り替わります。
右にまわすと、曜日が切り替わります。
合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
※午後９時～午前４時３０分までの間に日付、曜日を合わせると、次の日に変わらない場合があります。

ソーラー　マルチファンクション

◎ソーラー４針 24H モデル

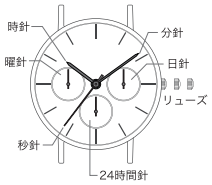


リューズ
０段目 - 通常位置
１段目 - 未使用
２段目 - 時刻合わせ

（時刻の合わせ方）
リューズを２段引き出します。
リューズをまわして時刻を合わせます。
合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
※24時間針の午前･午後を間違えないように合わせてください。

⚠ 注意
製品の特性上、リューズは２段階の引き出し式構造となっております。時刻合わせには２段階引き出してください。

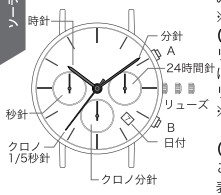
◎ソーラー６針デー・デイト・24H モデル



（曜日の合わせ方）
リューズを２段引き出します。リューズをまわし時・分針を進めていくと曜針が進みます。針をまわし続け曜日を合わせてください。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
（時刻の合わせ方）
リューズを２段引き出します。リューズをまわし時・分針を進めていくと時針が進みます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
※24時間針の午前･午後を間違えないように合わせてください。
（日付の合わせ方）
リューズを １ 段引き出します。リューズをまわして日付を合わせます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
※午後９時～午前２時までの間に日付を合わせると、次の日に変わらない場合があります。
※日付・曜日は２４時間に１度変わるように設計されています。

ソーラー　クロノグラフ

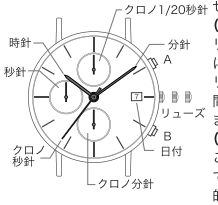
◎ソーラークロノグラフモデル①【充電残量表示なし】



（時刻の合わせ方）
リューズを２段引き出します。リューズをまわして時刻を合わせます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
※24時間針の午前･午後を間違えないように合わせてください。
（日付の合わせ方）
リューズを １ 段引き出します。リューズを時計まわりにまわして日付を合わせます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
※午後９時～午前２時までの間に日付を合わせると、次の日に変わらない場合があります。
（クロノグラフの使い方）
このクロノグラフは最大 59 分 59 秒まで時間を計測し表示できます。60 分になりますと自動的に止まります。
1.Aボタンを押してクロノグラフをスタートします。
2.クロノグラフはAボタンを押す毎にスタート／ストップを繰り返すことができます。
3.B ボタンを押すと、クロノグラフがリセットされ

クロノ 1/5 秒針、クロノ分針が０時位置に戻ります。
（クロノグラフゼロリセット）
クロノグラフをリセットした後や、電池交換した後など、クロノ各針が０時位置に戻らないときにこの手順を実行してください。
1. リューズを２段引き出します。
2.Aボタンを２秒間押し続けますとクロノ分針が１回転します。この状態で B ボタンを押してクロノ分針を０時位置に合わせます。
3. もう一度Aボタンを２秒間押し続けますとクロノ 1/5 秒針が１回転します。この状態で B ボタンを押してクロノ 1/5 秒針を０時位置に合わせます。
4. クロノ分針、クロノ 1/5 秒針が０時位置に戻ったら、リューズを押し込みます。

◎ソーラークロノグラフモデル②【充電残量表示なし】

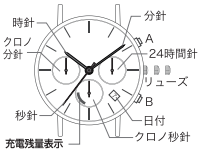


（時刻の合わせ方）
リューズを２段引き出します。リューズをまわし、午前と午後を間違えないようにして時刻を合わせます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
（日付の合わせ方）
リューズを １ 段引き出します。リューズを時計まわりにまわして日付を合わせます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。※午後９時～午前２時までの間に日付を合わせると、次の日に変わらない場合があります。
（クロノグラフの使い方）
このクロノグラフは 1/20 秒刻みで最大５９分５９秒まで時間を計測し表示できます。６０分になりますと自動的に止まります。
1.Aボタンを押してクロノグラフをスタートします。
2.クロノグラフはAボタンを押す毎にスタート／ストップを繰り返すことができます。
3.B ボタンを押すと、クロノグラフがリセットされ

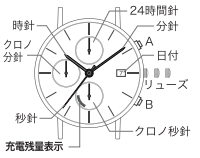
クロノ 1/20 秒針、クロノ秒針、クロノ分針が０時位置に戻ります。
※クロノ 1/20 秒針は１分を経過すると止まり、クロノグラフをストップすると測定時刻を示します。

（クロノグラフゼロリセット）
クロノグラフをリセットした後や、電池交換した後など、クロノ各針が０時位置に戻らないときにこの手順を実行してください。
1. リューズを２段引き出します。
2.Aボタンを２秒間押し続けますとクロノ 1/20 秒針が１回転します。この状態で B ボタンを押してクロノ 1/20 秒針を０時位置に合わせます。
3. 次にAボタンを２秒間押し続けますとクロノ秒針が１回転します。この状態で B ボタンを教えてクロノ秒針を０時位置に合わせます。
4. 次にAボタンを２秒間押し続けますとクロノ分針が１回転します。この状態で B ボタンを押してクロノ分針を０時位置に合わせます。
5. クロノ 1/20 秒針、クロノ秒針、クロノ分針が０時位置に戻りましたら、リューズを押し込みます。

◎ソーラークロノグラフモデル③【充電残量表示付き】



（時刻の合わせ方）
リューズを２段引き出します。リューズをまわして時刻を合わせます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
※24時間針の午前･午後を間違えないように合わせてください。
（日付の合わせ方）
リューズを１段引き出します。リューズを反時計まわりにまわして日付を合わせます。合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。
※午後９時～午前２時までの間に日付を合わせると、次の日に変わらない場合があります。
（クロノグラフの使い方）
このクロノグラフは １ 秒刻みで最大 29 分 59 秒まで計測できます。30 分になりますと自動的に止まります。
1. A ボタンを押してクロノグラフをスタートします。
2. クロノグラフは A ボタンを押す毎にスタート／ストップを繰り返すことができます。
3. B ボタンを押すと、クロノグラフがリセットされ



クロノ秒針、クロノ分針が０時位置に戻ります。
（クロノグラフゼロリセット）
クロノグラフをリセットした後や、電池交換した後など、クロノ各針が０時位置に戻らないときにこの手順を実行してください。
1. リューズを２段引き出します。
2. Aボタンまたは B ボタンを押してクロノ秒針、クロノ分針を０時位置に合わせます。
※クロノ秒針、クロノ分針は連動して動きます。
3. クロノ秒針、クロノ分針が０時位置に戻ったら、リューズを押し込みます。

（充電残量表示機能の使い方）
ソーラー充電で得られた充電残量を表示して確認することができます。

1. クロノグラフがリセットされているか確認してください。
2. ボタン B を２秒以上長押しします。
3. クロノ秒針が「充電残量」を表示します。
4. クロノ秒針は自動的に０時位置に戻ります。

充電残量（使用可能日数）	十分（約 90 日以上）	半分（約 30-90 日）	少ない（約 30 日以下）
表示 クロノ秒針の位置			

※上図は目安としてお使いください。

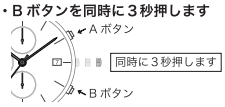
※万が一、充電しても動かない、または異常な動きになったとき（システムリセット方法）

お使いのソーラーウォッチクロノグラフ搭載モデルで万が一、十分に充電しても動かないときや1秒運針にならないとき、または異常な動きになったときは、次の操作を行うことで正常に機能する場合がございます。**（※ソーラークロノグラフモデル③を除く）**

※長期間充電されずにいると、搭載ICの特性により光にあてても時計が作動しない現象が生じる場合がございます。（時計は止まった状態ですが、充電ができないわけではございません。）

①リューズを２段引き出します
秒針が止まります。

②A・B ボタンを同時に３秒押します



③リューズを押し戻します
秒針が動きはじめます。
※秒針が２秒運針しているときは、１秒ごとの運針になるまで十分な充電をしてください。

④クロノグラフ各針を合わせた後、時刻・日付を合わせます

◎アナログオートマチック（自動巻）の取扱について
自動巻モデルは、通常腕の動きによってゼンマイが自動的に巻かれて作動します。ただし、長時間止まっていた状態の時計を作動させる際には、リューズをまわしてゼンマイを巻き上げることをおすすめします。ゼンマイを巻く際には、リューズを時計まわりにゆっくりまわしてください。リューズを反時計まわりにまわしてもゼンマイは巻き上がりません。ゼンマイはリューズを 30 回転すれば十分に巻き上げることができます。ゼンマイの巻き上げが不足すると、進みや遅れの原因になりますので、１日 10 時間以上携帯することをおすすめします。なお、時計を腕につけないでご使用される場合は、毎日一定の時刻にゼンマイを十分に巻いてご使用ください。

（時刻の合わせ方）
リューズを２段引き出します。リューズをまわして時刻を合わせます。
合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。

（日付の合わせ方）
リューズを１段引き出します。リューズをまわして日付を合わせます。
合わせ終わりましたらリューズを押し込みます。

○機　　能：３針／３針日付／３針日付・曜日付き
○時間精度：±３０秒～６０秒／日（使用状態により異なります。）
○運針方法：自動巻方法　　○表示方法：ダイヤルと針によるアナログ方式
○オーバーホール：機械式時計につき３年に１回程度のオーバーホールをおすすめします。
※機械式時計を正確に合わせるためには、分針を正しい時刻より５～１０分手前にしておき、そこからゆっくり進めて合わせてください。

◎ 針と目盛りのズレについて
歯車同士は安定した動作をするために隙間を確保しつつ噛み合わさっています。この隙間のことを バックラッシュ や あそび といいます。（ 図１）
バックラッシュは適度な大きさになるように設計されており、この僅かな隙間によって秒針の先端位置に若干のばらつきが生じます。そのため、秒針が目盛りより微かにズレていることもありますが異常ではありません。（ 図２）

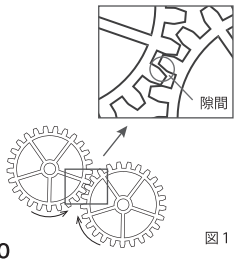


図１

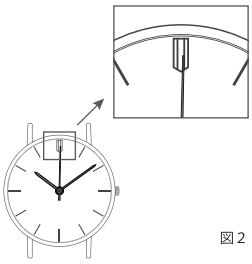


図２

【メモ】